市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
								○		

視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
		妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	
市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐		
他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☐	☐	☒		
事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☐	☒	☐		
効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	学校のクラブ活動を補完する活動であるため、受益者負担の考え方にはそぐわない。当事業は市独自の取組みとして、場所と人材については、既存の中学校のグラウンドと市職員を活用した最低限の経費で運用しており、現行体制では見直しの余地はないものと思料する。
	使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
	人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
	国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
	市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐		
協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	初年度末にはアンケートを実施して意見の聴取を行った。参加者からはおおむね好評を得ている。
有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	
達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	

担当部局評価	総合評価			
	☒ 継続	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 廃止・休止
	(概ね現行どおり継続して実施)	(実施方法の改善を検討する)	(事業規模の縮小を検討する)	(廃止・休止を検討する)
今後に向けて(取組方針・具体的な改善改革案など)				
事業のさらなる周知と参加者の増加を図るため、地元のプロチームと連携したイベントの開催などを予定している。旧埴生小学校の跡地に整備されるスポーツ公園の完成後は、そちらに拠点を移して、地域のスポーツクラブの活動へと移行させていくことも視野に入れる。				

行革本部評価	総合評価		評価理由・意見
	☐ 継続	☐ 改善	
☐ 縮小	☐ 廃止・休止		